



発行日：2009年1月23日
発行所：浦和大学・浦和大学短期大学部 入試広報課
さいたま市緑区大崎3551
☎ 0120-860-294(入学相談窓口) TEL 048-878-5536
FAX 048-878-5690 URL http://www.urawa.ac.jp/

浦大レター

浦大生たちの声 特集

学内イベント・在校生・卒業生・クラブ・サークルetc.を丸ごと紹介

第21回 しらさぎ祭開催!!



しらさぎ祭レポート

10月18日(土)、19日(日)の2日間、浦和大学・浦和大学短期大学部の学園祭「しらさぎ祭」を開催しました。第21回目となる今回は模擬店あり、ステージでのライブあり、クラブ・サークルの展示などに例年以上ににぎやかな2日間となりました。

食の祭典!?

今年の模擬店はなんと46店も出店しており、必然的に食べものを扱う店も多くなってお客さんの呼び込み合戦！例年にない白熱した模擬店バトルは来場者の胃袋をパンパンに満たしていました。中には怪しげ(?)な格好で売り歩く姿も見られました。



しらさぎ祭レポート

■ステージ上はライブで大賑わい！

恒例の「お笑いライブ」ではタレントのホリさん、クワバタオハラさんを招き、屋外の会場は爆笑であふれていました。また軽音楽サークル、浦大ウィンドオーケストラによる演奏、ダンスサークルによるステージもタレントさんに負けず、たくさんの方が集まり、とても盛り上がっていました。また学内では華道部や絵画部などの文化系サークルの作品展示や、ゼミ生たちの研究内容の発表も行われていました。



■お父さんと子どもの笑顔で満たされた「ぽっけ」



こども学部のこどもコミュニティーセンターにある親子のひろば「ぽっけ」では、学園祭ということで特別に開園をしていました。平日に開園されている普段と異なる土曜・日曜の開園となったため、お父さんと子どもが「ぽっけ」でふれあう様子や模擬店で買ったご飯と一緒に食べる光景など、たいへん微笑ましい姿も見受けられました。

■一く々に恩師や友人と再会—
介護福祉科ホームカミングデーも同時開催

学園祭の開催に合わせ、卒業生のためのホームカミングデーも開催されました。当日は予想以上の卒業生たちが集まったようで、広いスペースを有する介護実習室を会場にして正解だったようです。久しぶりに母校に戻ってきた卒業生たちは教職員を囲んで楽しげに話をしていました。また同じ学び舎で育った友人たちとも久々に再会し、在学中の思い出を懐かしげに語り合う姿が印象的でした。

■実行委員長が振り返る、
2008年のしらさぎ祭

しらさぎ祭実行委員長
吉野 翼さん(総合福祉学部4年)

今年のしらさぎ祭は計画するにあたり“みんなで笑顔を交わせるように”という思いがありました。

そのため野外ステージを設置し、ステージ横の芝生スペースに模擬店の出店を集中させました。

学生同士はもちろんの事、一人でも多くの地域の方に浦和大学をみていただきたいと思い、市役所など様々な所にポスターを貼らせていただきました。そして学友会が何よりも大切にしてきたのが、生徒が大学の近隣のお宅へ直接訪問し、しらさぎ祭を伝える事でした。

しらさぎ祭を通し、ご来訪いただき地域の方に笑顔で『生徒のみなさん生き生きしていい大学ね』と言っていた時に、とても嬉しく思いました。

また去年からの反省として、片付けを素早くやろうという課題がありました。今年は、事前の入念な話し合いによりスムーズに行うことができました。今後も部活・サークルと連携するための活動を大切にしていってほしいと思います。

このほかにも様々な催しがありました。が誌面スペースの都合上ここでは紹介しきれませんでした。当日の様子は本学Webサイトのフォトギャラリーに掲載していますので、是非ご覧になってみてください。

浦和大学Webサイト <http://www.urawa.ac.jp/>

もっと
見られる!

トピックス 浦大TOPICS

TOPICS

1

障がい者の自立を支援するパン屋さん 「スワンベーカーリー北浦和店」本学構内で販売

本学4号館の学生談話室では毎週月曜日のお昼休み時間中に、スワンベーカーリー北浦和店の販売ブースが設けられ、多くの学生から好評を集めています。スワンベーカーリーでは、従業員として知的・精神的に障がいを持つ方の雇用を積極的に進めており、販売スタッフの中には障がいを持った方もいます。

スワンベーカーリー北浦和店の社長である飯塚哲朗さんは、埼玉県庁障害者福祉課長を務められた方で5年前に県庁を退職し、障がい者に働く場を提供し、社会的に自立を目指して欲しいという思いから、2年前の2006年11月にスワンベーカーリー北浦和店を開店しました。

本学での販売は、当初は2007年の12月に一度だけ行われましたが、好評だったことから、2008年4月からは毎週月曜日に訪問販売に来ていただくことになりました。こうした取り組みに対して、本学の総合福祉学部の学生も少しでも販売に協力しようと、スワ

ンベーカーリーの訪問販売を紹介するポスターを自主制作し、大学構内の至る所に掲示しました。定期的な販売を始めて半年以上が経った現在では、スワンベーカーリーのパンの販売はすっかり定着して、販売開始と同時に買いに来る学生の姿も見られるようになりました。月曜日のお昼にスワンベーカーリーのパンを是非味わってみてください。



▲スワンベーカーリー店長の飯塚さん(前列左)とポスターを制作した総合福祉学部の学生たち

TOPICS

2

ボランティアサークル 「Red Cross」のメンバーが 埼玉赤十字の交流事業で渡韓

総合福祉学部3年 森 真理恵さん

私は10月25日から4日間、埼玉県赤十字と大韓赤十字との交流事業として韓国の京畿道を訪問しました。今回の訪問は、私が所属しているサークル「Red Cross (浦和大学学生赤十字奉仕団)」から1名と埼玉県内にある各奉仕団から9名、職員の方2名での訪問でした。4日間の交流では、韓国の奉仕団との意見交換のほか老人福祉施設への慰問や生活困窮者へのキムチ作りなどを行いました。

今回の交流を通じて、お互いの活動に対する意識や奉仕活動をする上での問題点など日本とは違う部分を多く発見できました。特に韓国のボランティアに対する意識はとても高く、小さい時から義務としてボランティアを行っていることが大きな違いではないかと感じました。この活動でわかったお互いの

良い面を吸収し、また悪い面は改善しながら今後の活動に生かしていきたいと思います。



▲写真前列右から2人目が森さん

TOPICS

3

福祉健康スポーツコース 実習用トレーニングジム新設

総合福祉学部が2009年4月から「人間福祉・心理コース」「福祉ビジネスコース」「福祉健康スポーツコース」の3つのコース制を導入するにあたり、福祉健康スポーツコースの実習で使用するトレーニングジムが新設されます。

新設となるトレーニングジムには、エアロバイクやステップマシン、ダンベルといったスポーツジムで馴染みのある機器が設置されるほか、手のばし測定器や全身反応測定器、長座体前屈計といった身体機能を測定するための機器も導入されます。

福祉健康スポーツコースは、福祉に関する知識と運動に関する知識を学び、これを組み合わせることで、主に高齢者をはじめとする中高年の方に対して介護予防のための指導を行える人材を育成するためのコースです。新設されたトレーニングジムを使い、介護予防や運動機能の低下を抑えるための指導方法などを実習します。



▲トレーニングジム完成予定図

2008年度 内定速報!

総合福祉学部で学んだ知識を 活かせる企業に内定



株式会社 ムトウ 内定 長澤 圭 さん
(総合福祉学部・総合福祉学科4年)

私が就職活動を本格的に始めたのは3年生の11月上旬でした。エントリーした会社は約60社で、主に、興味のある児童分野と医療機器・福祉機器関係の一般企業に絞り込んで就職活動を進めていきました。

就職活動で苦労したことはエントリーシート の書き方と面接でした。エントリーシートは、友人と自己診断をすることで、今まで見えていなかった自分の長所や短所を明らかにすることができました。その次に志望する会社をいろいろな角度から調べ、エントリーシート の書き方などを学生就職課の担当職員の方から助言してもらうことで、完成することができました。面接においても、最初の頃は緊張で焦り、矛盾だらけの回答をしてしまうなど散々な結果でしたが、回数を重ねるごとに緊張は和らぎ、自分の想いを面接官の前で素直に表現することができるようになりました。

また就職活動はスケジュールとの戦いだということも学びました。日によっては1日で3つの企業の説明会に参加したこともあり、実習(ホームヘルパー1級

取得)やインターンシップと重なることが多く、企業の人事の方に度々日程変更のお願いをすることも少なくありませんでした。この時は「日程変更のお願いは失礼なのか?」と思いましたが、企業によっては好印象を与えるということが後々分かり、とても安心しました。また、実習やインターンシップでは就職活動で疲れ切ったメンタルを、利用者や職員の方々と触れ合うことでリフレッシュすることができました。おかげで、再び就職活動を意欲的に取り組むことができました。

結果、4年生の4月時点で内定は3つの企業からいただき、悩んだ末、興味のある医療機器・福祉機器を取り扱っている株式会社ムトウ(商社)に決めました。営業を主とした業務内容は大変な仕事だと思いますが、大学生活中に培った福祉の知識やコミュニケーション能力、就職活動中に知ることができた自分の長所を活かし一生懸命取り組んでいきたいです。

浦大 クラブ 紹介

チームの団結で昇格を勝ち取る! —浦和大学バドミントン部—

バドミントン部代表 大川 純平さん
(総合福祉学部4年)

浦和大学バドミントン部は、2005年度の春から「関東学生バドミントン連盟」に加盟しました。しかし加盟初年度の団体リーグ戦は、レベルの高さに圧倒され悔しさの残る結果となりました。この悔しい思いを胸に翌年度からは精力的に活動を行い、学生連盟の大会だけでなく、さいたま市の大会でも好成績を残し、着実に実力を高めることができました。

このような積み重ねを経て、2008年度は男女とも学生連盟の大会で6部から5部へと昇格することができました。個人競技であるバドミントンですが、この団体戦での昇格はチームの団結力を目に見える形で残せた最高の結果でした。また、加盟してからの4年間すべての大会を目にしてきた私にとっても最高の1年になりました。

部活の規模も部員も大きくなるにつれて、個々の志気にムラができてしまうのが課題ですが、常に高い目標を掲げてより精力的に活動していきたいと思ひます。



▲最前列左から4人目が大川さん

浦和大学バドミントン部 2008年度 成績

【学連大会】

関東大学バドミントン春季リーグ戦(男子)	6部A	優勝	
関東大学バドミントン春季リーグ入替戦(男子)	対:帝京科学大学	勝利	5部昇格
関東大学バドミントン春季リーグ戦(女子)	6部A	準優勝	
関東大学バドミントン秋季リーグ戦(男子)	5部B	5位	
関東大学バドミントン秋季リーグ戦(女子)	6部B	優勝	
関東大学バドミントン秋季リーグ戦(女子)	対:東京大学	勝利	5部昇格

【さいたま市大会】

第5回 春季バドミントン大会(さいたま市) 団体	男子2部	準優勝	
第5回 春季バドミントン大会(さいたま市) 団体	男子4部	3位	
さいたま市民体育大会 個人:ダブルス	男子1部	優勝	長澤・吉田
さいたま市民体育大会 個人:ダブルス	男子3部	優勝	西山・今井
さいたま市民体育大会 個人:ダブルス	男子4部	準優勝	和田・小野
さいたま市民体育大会 個人:ダブルス	女子4部	3位	隆崎・弘本

実習レポート

浦和大学
総合福祉
学部

実習を通じて分かった相談員のもつ役割

総合福祉学部3年 高橋 邦明 さん

私が老人保健施設で行った現場実習では、相談員のもつ役割について深く学ぶことができました。実習前に持っていた相談員像とは、相談業務が主であると思っていました。実際に実習を行ってみると、その相談から得た情報を施設内外の各サービス提供者に伝えることや、利用者にとってより良いサービス提供に繋がる効果を引き出すという役割が相談員の大切な仕事なのだと分かりました。また、相談面接への同席実習からは、利用者が話しやすい雰囲気作りや質問の仕方を工夫することにより、深い情報が得られることも学びました。

利用者主体の支援を行うために「情報を把握する力」と「情報を整理し伝える力」の二つを身につけてこそ相談員として機能できるのだと思いました。



浦和大学
子ども
学部

保育者への歩みを支えてくれた実習

子ども学部2年 山下 美果 さん



保育園の実習で、子どもたちと生活を共にし、子どもの発達や特性に合わせた保育者の援助について学びました。

2週間の実習を通して、遊びの中での育ち合いについてと、その遊びを支える保育者のかかわりの大切さをあらためて感じました。また、子どもたちに対して保育者は場面に応じて様々な役割を果たすことが求められているということがわかりました。場面に応じた自身のかかわりと、その時々果たすべき役割は何かについての判断の根拠は子どもの内面の理解だと思っています。今後、授業や実習、「ほっけ」での活動を通してこの点を深めていきたいと思いました。

大学での学びを広げ、自身の今後の課題を見出すことができたとても貴重な体験でした。

浦和大学
短期大学部
介護
福祉科

利用者の意思を大事に、気持ちを受け止められる介護福祉士になりたい

短期大学部 介護福祉科2年 町田 仁美 さん

私は8月1日から25日までの間、第三段階介護実習として特別養護老人ホーム「たんぼぼ翔裕園」へ実習に行きました。実習の中で一番大切だと感じたことは、利用者とのコミュニケーションです。そのため実習では特にコミュニケーションの取り方に気を配りました。また介護技術は、食事介助・排泄介助・入浴介助など多くの介助方法を実習で学びました。はじめから介助が正しくできるわけではないので失敗を恐れず、自ら進んで介助をしていく姿勢が大切であると実習のなかで学ぶことができました。

介護に関わる仕事に就き利用者の方を支援する際は、利用者の意思を大事にし、気持ちを受け止められるコミュニケーションができるよう心掛けていきたいと思っています。



活躍する先輩を訪ねて

「活躍する先輩を訪ねて」は、本学で福祉に関する知識・技術を身につけて社会で活躍している卒業生の方の職場を訪ねるレポート企画です。今回は、上尾市社会福祉協議会にお勤めの岡安史人さんを訪ねました。

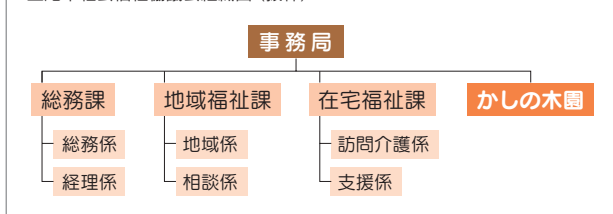
地域の方がよりよく 暮らせるために貢献したい

上尾市社会福祉協議会 福祉作業所「かしの木園」勤務
岡安 史人さん (総合福祉学部 2008年3月卒業)

社会福祉協議会の仕事と「かしの木園」の役割

社会福祉協議会は、地域に暮らしている人たちが安心して生活できるよう支援することが主な仕事になります。上尾市社会福祉協議会は事務局内に、総務課、地域福祉課、在宅福祉課の3つの課と岡安さんが配属されている、かしの木園が設置されています。

上尾市社会福祉協議会組織図(抜粋)



かしの木園は福祉作業所として設立され、障がいがある方を対象に、職業能力を身につけるための支援を行っている施設です。具体的には、園生が廃棄となったアルミ缶のプレス作業や工場などで使用される機械手入れ用の雑巾(ウエス)の製作などを行っています。



▲上尾市総合福祉センターの外観

作業支援の他にもう一つの大切な役割

岡安さんは園生の作業の補助のほか、リハビリなどの生活支援を行っています。園生の中には手だけしか自由に動かない重度の障がいをもつ方もいます。こうした方でも作業できるよう、ウエスの材料となる布を手元に渡すといった補助が必要となります。

しかし作業の補助以上に大切なのは、園生への生活支援だそうです。障がいの度合いによって、着替えや食事、排泄の介助などを行っています。岡安さんの担当する園生の家庭との間で、その日の作業内容の他、食事や排泄など園内での生活の様子について細かに連絡用ノートに綴り報告しています。このノートは岡安さんから一方的に報告するだけでなく、家庭での様子についてご家族の方から書いていただき、それを踏まえて園内での接し方などに気を配っていると



▲園生が作った年賀状を見せる岡安史人さん

のことです。

大切なことは「相手をよく知る」

現在の仕事の中で岡安さんが最も大切にしているのは、園生とのコミュニケーションだといいます。障がいをもつ方は話す相手の話し方や表情にも敏感に反応します。そのため岡安さんは、その相手についてよく知ることを強く心がけています。「入社したての頃を考えると、最近ではコミュニケーションの取り方も分かるようになり、作業に飽きてきた園生をやる気にさせるためのコツも分かってきました」と笑顔で語ってくれました。

高齢者施設での実習経験が今の仕事に生きる

大学時代に学んだことで今の仕事に役立っていることは高齢者施設での実習だそうです。岡安さんは大学時代、老人介護施設へ実習に行き、介護に関する知識と技術を身につけました。高齢者の方の介護は大変でしたが、在学中にこうした経験を積むことができたことは今の仕事で園生の生活サポートをするうえで非常に役立っているとのこと。

将来は、社会福祉協議会の各部署の仕事を一通り経験したうえで、地域福祉に関する仕事に携わりたいといいます。具体的には、地域で暮らす人たちがより良く暮らせるために問題解決や改善を図っていく仕事で、特に最近では少子・高齢化の進行や経済状況の急変などにより福祉に求められる課題も多岐にわたっています。こうした課題に取り組み、一つ一つ解決を図っていくような仕事に携わりたいと思っているとのこと。

取材後記

今回の取材を通じて社会福祉協議会の仕事が多岐にわたるということを認識しました。岡安さんが勤務されている上尾市社会福祉協議会の活動内容については下記ホームページに掲載されていますので、ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか？

上尾市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.ageo-shakyo.or.jp/>

完全版
「活躍する先輩を訪ねて」
Webにて掲載中!

誌面の都合上、紹介できなかった内容や写真、岡安さんの職場の上司の方のコメントなども掲載しています。写真も記事も倍以上掲載しています。

浦和大学ホームページ
<http://www.urawa.ac.jp>

在校生インタビュー

あこがれの 大学生活は どう ですか?

昨年4月に入学した学生の大学生活もすでに一年近くが過ぎようとしています。入学式の時に夢やあこがれを語ってくれた各学部の一年生たちに、今現在のキャンパスライフについて尋ねてみました。

授業や実習など今、打ち込んでいることなど“生の声”を紹介します。

こども学部 こども学科

會田 有貴子さん (出身校: 浦和学院高校)



▶大学の授業はどのようにですか?

特に印象に残っているのは「こども理解と観察」の授業です。0歳児をもつ親子の方に年間4回大学に来ていただき、こどもの成長を観察させてもらう授業ですが、最初の時は生後3カ月ほどで眠ってばかりだった赤ちゃんが、3回目の時には生後10カ月になっていて、ハイハイができるようになっていました。こどもの成長の早さに驚きました。

▶「ぼっけ」の学生スタッフとして参加していますか?

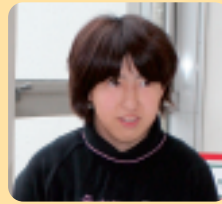
授業のない時間にあらかじめ予約を入れて「ぼっけ」へ足を運んでいます。はじめは人見知りでお母さんの後ろに隠れていた子どもが、私の持っていたウサギのパペットに興味を持ってきて、それがきっかけで仲良くなりました。久しぶりにその子と会った時、私のことを覚えていてくれて、今度はその子からウサギのパペットを持って私に近寄ってくれたことはとても嬉しかったです。

▶アルバイトをしているようですが

近くにあるショッピングセンターのフードコーナーでバイトしています。一見すると子どもとは関係がないようですが、実は休日は家族での買い物のお客さんも多くて、家族のコミュニケーションの様子など思わず観察してしまいますね。

総合福祉学部

加藤 沙織さん (出身校: 鴻巣女子高校)



▶大学の授業はどのようにですか?

まだ1年生なので、福祉の専門科目よりも文化・教養などの総合科目や基礎的な科目の履修が多いです。

夏休みには、キャンピングストラクターの資格を取るためキャンプ実習に参加しました。キャンププログラムの計画からキャンプファイヤーや野外炊飯の準備、実技などを行っていましたが、中でも筏を作って湖に浮かべたのには驚きました。

▶クラブやサークルはしていますか?

クラブには所属していませんが、踊りプロジェクトに誘われて参加しました。さいたま市の「咲いたまつり」や緑区の区民まつりで、よさこいソーランを踊りました。

踊りプロジェクトに参加したことで、他の学部の友達ができただけでなく大きな収穫でした。

▶どんなアルバイトをしていますか?

大学の実習でも利用させていただいている特別養護老人ホーム「スマイルハウス」でアルバイトをしています。障がいの度合いは人によって異なるので、担当する利用者さんのことをきちんと理解して介助することが大切なのがありました。

利用者さんが私の顔を覚えてくれて、気軽に声を掛けてくれるようになったのも嬉しいですね。

短期大学部 介護福祉科

梶川 大輔さん (出身校: 浦和実業学園高校)



▶大学の授業はどのようにですか?

大学というと教室で講義を聞いている「勉強ばかり」のイメージでしたが、全く違っていました。中でも音楽療法の授業や障がい者の模擬体験など自分で体験してみる授業は特に印象に残っています。

▶すでに実習に行かれたと聞きました

9月に特別養護老人ホームへ12日間、介護実習へ行ってきました。実習では食事、入浴、排泄などの介助を行いました。しかしそれ以上に、今回の実習では介護におけるコミュニケーションの大切さを学びました。実は上手くコミュニケーションがとれず、なかなかうち解けられなかった利用者さんがいたのですが、実習最終日にはうち解けることができ、涙を流して別れを惜しんでくれました。とても良い経験ができたと思います。

▶学外活動などしていますか?

地域との交流活動として、さいたま市の「咲いたまつり」や緑区の区民祭りに大学の仲間たちと参加しています。区民祭りの時にペンギンの着ぐるみの中に入っていたのは、実は僕なんです(笑)

こうしたイベントでは子どもたちともふれあえるのも楽しいですね。



新高校3年生向け

「春のオープンキャンパス」

開催!!

大学ってどんなところ?

授業は?

施設は?

先輩は?

》そんなギモンもスツキリ解決!!

春のオープンキャンパス

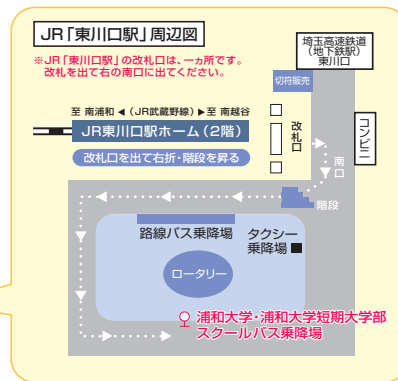
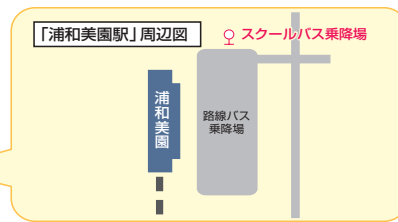
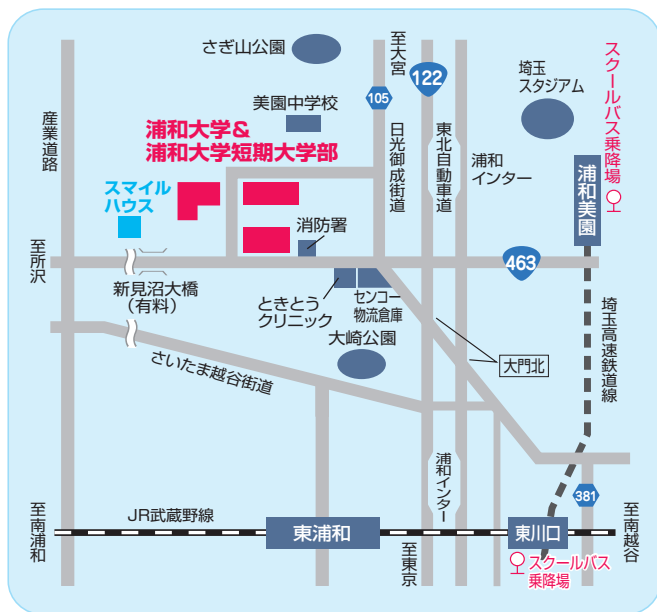
3月26日(木) 10:30開始

お友達や保護者の同伴もOK!

浦和大学・浦和大学短期大学部は、新高校3年生の方向けに春のオープンキャンパスを開催します。

各学部の紹介のほか、**模擬授業**や**校舎見学**、**入試相談**なども行っています。

学生スタッフに授業のことやクラブ・サークルなど大学生活について聞いてみるのもOKです!



3月26日オープンキャンパス 〔スクールバス時刻表〕

※この運行表はオープンキャンパスに来校いただく方用です。

※オープンキャンパス開催日以外に学校見学・入学相談に来校いただく方は、本学ホームページ掲載のスクールバス運行表をご覧ください。



東川口駅発

時	浦和大学行
8	10 35
9	20 40
10	00 20 40
11	00 30
12	00 30
13	00 30
14	00 30
15	00 50
16	40

浦和美園駅発

時	浦和大学行
8	20
9	10
10	30
11	20
12	35
13	05
14	05
15	05
16	05

学校法人 九里学園 浦和大学／浦和大学短期大学部 入試広報課

〒336-0974 さいたま市緑区大崎3551 ☎0120-860-294 ☎048-878-5536 (直通) FAX 048-878-5690 (直通)
URL <http://www.urawa.ac.jp/> E-mail nyushi@urawa.ac.jp